

研究課題名	肝臓病における炎症・線維化・発癌に関する生体内物質の探索
研究の意義・目的	生体内の物質を網羅的に解析する技術は日々進歩しており、現在、少量の血液などからタンパク質・脂質などの様々な生体内物質を解析できるようになりました。この解析方法を利用し、肝臓病における炎症・線維化・発癌などの病態進行に関わる新たな生体内物質を発見し、病態を解明し診断・治療へ貢献することを目指し研究を行います。
研究を行う期間	承認後～2028年3月31日（西暦）
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2005年7月28日（西暦）～承認日の前日までに大阪市立大学医学部附属病院の肝胆膵内科で、肝炎や肝臓癌などの肝疾患の診断または治療のため受診され、入院または通院された方が対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 試料：血液、肝組織 診療情報等：病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、画像データ
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院肝胆膵内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院肝胆膵内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 河田則文
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	研究責任者：大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 榎本大 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話 06-6645-3905